



# 洞爺湖の平穏な環境を 守るために自分ができること

## profile

昭和44年11月18日生まれ。  
趣味は車やバイク。お酒を飲むのが大好き。温4区在住。  
53歳。

# Spotlight

スポットライト



北海道知事感謝状（自然保護関係功労者）受賞

## 荒町 誠さん

「温 泉街には多くの観光客が訪れ、湖水まつりなど華やかなイベントでにぎわい、とても活気がある街、高校生だった自分にとっては何もかもが新鮮で楽しかったです」初めて洞爺湖温泉街を訪れた時の印象を話すのは自然保護監視員としての功績が認められ北海道知事感謝状を受賞した荒町誠さん。

荒町さんは森町の出身で、実家は漁業を営んでいました。が、中学生のときに父親が体調を崩して廃業、豊浦町の知人の漁師を手伝うために豊浦町に移住。昭和60年、虻田高校定時制課程入学と同時に洞爺湖中央モーターボートに就職、現在は有限会社アラマチとともに代表を務めています。

荒町さんは平成16年に洞爺湖中央モーターボートの前代表が従事していた森林保全巡視指導員の業務を引き継ぎ、前代表の他界後の平成23年から自然保護監視員の業務も行っています。

指定された公園や施設、それに付随するもの、公共の掲示物などに異常がないか、自然公園が適切に利用されているか、また、老三樹の保護・巡視などの活動を日常的に続けています。

「いつもの状態が保たれていることが一番、車や船を使っていることもありますが、いつも見ているものが、いつもどおりの状態にあるのかということに常に意識しています」と活動に対する心構えを話します。「感謝状の受賞はびっくりしましたが、景観を守るために続けてきた活動が認められてうれしいです」と目を細めます。

最後に荒町さんは、「今後も自然保護監視員の活動を続けながら、町民の人も知らないような洞爺湖や有珠山、豊かな自然の良さや魅力などを町内外に発信し、地域の防災や減災に繋がるような活動、またその一助を担えるような活動をしていきたい」と意気込みを語っていました。

## 東奔西走

明けましておめでとうございます。今年は「卯年」です。うさぎは飛び跳ねることから、「飛躍」や「向上」の象徴になるそうです。私もカメラを扱う技術や写真を撮る技術をさらに向上させていきたいです。(M.O)  
観 光客の足音が戻ってきた2022年ですが、今年は昨年にも増して町がにぎわうかもしれません。5月の開催が決まった洞爺湖マラソンは、ついにフルマラソンが復活。後に続くイベントも活気づきそうです。(D.Y)

## 今月のワンショット



JR洞爺駅を彩るイルミネーション